

子育て支援推進部会の点検・評価の結果について

1 部会開催状況

子育て支援推進部会は、第二期宮崎市子ども・子育て支援プランの地域子ども・子育て支援事業の令和2年度取組状況について、第1回全体会資料をもとに点検・評価を実施しました。

8月4日(水)に会議形式で開催し、事務局からの説明をもとに点検・評価を行いました。

2 点検・評価の結果

資料4において、各事業の実施状況に対する委員の点検・評価の結果と意見を集約しています。全体の評価結果は以下のとおりです。(各委員の意見については、資料4をご覧ください。)

なお、全体の評価については、各委員の評価結果を基に、以下の判定基準で行いました。

<評価結果>

事業名	評価結果
1 利用者支援事業	※(評価が分かれた)
2 地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)	※(評価が分かれた)
3 妊婦健康診査事業	どちらかといえば順調である
4 乳幼児全戸訪問事業	どちらかといえば順調である
5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	どちらかといえば順調である
6 子育て短期支援事業(ショートステイ)	どちらかといえば順調である
7 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	順調である
8-(1) 一時預かり事業(幼稚園)	どちらかといえば順調である
8-(2) 一時預かり事業(その他)	どちらかといえば順調である
9 延長保育事業	どちらかといえば順調である
10 病児保育事業	評価保留
11 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	どちらかといえば順調である
12 実費徴収に係る補足給付を行う事業	どちらかといえば順調である

<評価の判定基準>

順調である=A、どちらかといえば順調である=B、あまり順調でない=C、
順調でない=D、評価保留=E

- ①委員の過半数がAと評価した施策は、「順調である」と評価
- ② " Bと評価した施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ③ " Cと評価した施策は、「あまり順調でない」と評価
- ④ " Dと評価した施策は、「順調でない」と評価
- ⑤ " Eと評価した施策は、「評価保留」と評価
- ⑥委員の評価が、A評価、B評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ⑦委員の評価が、C評価、D評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「あまり順調でない」と評価
- ⑧委員の評価が、A～Eに分かれ、上記①～⑦のいずれにも該当しない事業は、「※(評価が分かれた)」と記述

3 部会長総括

点検・評価の結果、まず、「1 利用者支援事業」「2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）」「10 病児保育事業」を除く事業については、「順調である」または「おおむね順調である」と評価しました。

「1 利用者支援事業」については、「順調である」「どちらかといえば順調である」と評価した委員が4名いる一方で、「評価保留」も同数を占め、評価が分かれる結果となりました。各委員からは、コロナ禍での対応を評価する意見と、コロナ禍で不安を抱える方、支援を必要とする方を把握できているのか疑問に思うなどの意見がありました。

「2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）」については、「順調である」「どちらかといえば順調である」と評価した委員が4名いる一方で、「順調でない」が2名、「評価保留」が2名と、評価が分かれる結果となりました。コロナの影響で休館となり、利用者数（実績）が大きく減少しているなどの理由から評価が難しいと判断した委員が多かったようです。また、委員からは、市から説明のあったオンライン相談の実施に対する意見が多く出されました。

「10 病児保育事業」については、「評価保留」と評価しました。コロナの影響を受け、実績が非常に少なかったことが要因と思われるが、コロナ禍で預けたくても預けられない保護者もいたのではないかという意見もありました。

最後に、コロナの影響を受け、実績が大きく減少している事業については、本当に支援を必要としている方が、支援を受けられない状況になっていないか確認をしていただき、コロナ禍に合わせた柔軟な対応をお願いします。